

第30回 京都の秋 音楽祭

内田光子

ピアノ・リサイタル2026

Mitsuko Uchida Piano Recital 2026

世界のUCHIDA 再び京都へ。
——内田光子が拓く、音楽の精神史

ハイドン：アンダンテと変奏曲 へ短調 Hob. XVII:6
Joseph Haydn: Andante with Variations in F Minor, Hob. XVII:6
シェーンベルク：6つの小さなピアノ曲 作品19
Arnold Schoenberg: 6 Little Piano Pieces, Op. 19
モーツァルト：ロンドイ短調 K. 511
Wolfgang Amadeus Mozart: Rondo in A Minor, K. 511
シューベルト：ピアノ・ソナタ第20番 イ長調 D. 959
Franz Schubert: Piano Sonata in A Major, D. 959

© Richard Avedon

京都コンサートホール 大ホール 2026年11月12日(木) 19:00開演 (18:00開場)
Kyoto Concert Hall Main Hall Thursday, November 12, 2026 at 19:00 (Doors open 18:00)

S:18,000円 A:16,000円 B:14,000円 ©一般発売：2026年6月21日(日)10時～

〈会員：京都コンサートホール・ロームシアター京都Club、京響友の会〉 S:17,000円 A:15,000円 B:13,000円 ©会員先行発売 2026年6月14日(日)10時～

※サポーター・パートナー会員（最速先行予約や一部割引適用等の特典あり）の詳細は、ホームページをご覧ください。

オンラインチケット24時間購入可 <https://www.kyotoconcerthall.org/>

京都コンサートホール チケットカウンター 075-711-3231 (10:00～17:00 / 第1・3月曜休館 ※休日の場合は翌平日)

ロームシアター京都 チケットカウンター 075-746-3201 (10:00～17:00 / 年中無休 ※臨時休館日等により変更の場合あり)

チケットぴあ <https://t.pia.jp> (Pコード:330-170) ローソンチケット <https://l-tike.com> (Lコード:56092) イープラス <https://eplus.jp>

※内容に変更がある場合がございますので、あらかじめご了承ください。最新情報はホームページでお知らせします。※就学前のお子様は同伴・入場いただけません。

※車いす席は、京都コンサートホール、ロームシアター京都のみで取扱い（オンライン購入不可）

主催：公益財団法人サントリー芸術財団 共催：京都市／京都コンサートホール（公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団）





2025年の熱狂を超えて、内田光子が再来日。円熟のピアノズムが挑むのは、透明な構造美の内側に、深く無限の感情が息づくモーツァルト、孤独と希望が交差するシューベルト。音の奥底に沈む真実をすくい上げる、世界のUCHIDA至高のピアノズムにご期待ください。

PROFILE

ピアノ：内田光子 Mitsuko Uchida, Piano

内田光子は、真実と美の姿を独自に追求しながら、自らが奏でる音楽の世界を深く掘り下げている演奏家である。モーツァルト、シューベルト、シューマン、ベートーヴェンの作品の解釈で高い評価を受ける一方、ベルク、シェーンベルク、ヴェーベルン、クルタークなどの作品に光を当て、新しい世代の聴衆に紹介している。『ミュージカル・アメリカ』ではアーティスト・オブ・ザ・イヤー2022に選出された。

長年にわたりシカゴ響、ベルリン・フィル、ロイヤル・コンセルトヘボウ管、バイエルン放送響、ロンドン響、ロンドン・フィルなどとの共演を重ね、クリーヴランド管との共演は100回を超える。ハイティンク、ラトル、ムーティ、サロネン、ユロフスキ、ドゥダメル、ヤンソンスといった世界的な指揮者との共演も多い。2016年からアーティストック・パートナーを務めるマラー・チェンバー・オーケストラとは、ヨーロッパ、日本、北米でのツアープロジェクトを行っている。ウィーン、ベルリン、パリ、アムステ

ルダム、ロンドン、ニューヨーク、東京で定期的によりサイタルを行い、ザルツブルク・モーツァルト週間やザルツブルク音楽祭にも頻繁に出演。

デッカと専属契約を結び、2011年にクリーヴランド管を弾き振りしたモーツァルトのピアノ協奏曲のライブ録音で、また17年にドロテア・レシュマンとで録音したアルバム『シューマンとベルク』でグラミー賞を受賞。

また、長年にわたり若い演奏家の成長を支援。ボルレッティ・ブイトーニ・トラストの創設メンバーであり、2013年よりマールボロ音楽祭の芸術監督も務める。

05年日本芸術院賞を受賞、文化功労者に選出。作品に対する深い探究と解釈が評価され、15年には、高松宮殿下記念世界文化賞（音楽部門）、ザルツブルク・モーツァルテウムよりゴールデン・モーツァルト・メダルを受賞。サントリーホールアソシエイト・アーティスト。